



機械工学科5年 小野 耕司

最初に、今まで様々なことで支えてくれた両親をはじめ、この5年間で勉強や研究、部活動のことなどで熱心にご指導して下さいました先生方に対し、感謝の気持ちをこの場をお借りして申し上げたいと思います。思い返せば中学3年生のとき、ただエンジニアになりたいという思いで受験しましたが、今ではもう、卒業を目の前にしています。高専で過ごした5年間というのは普通では味わえないほど濃いものでした。1年から専門科目に実習と、すぐに工学に触れ、学年を重ねるごとに専門知識が深まっていくと同時に、クラスメートとの仲もスポーツ大会や修学旅行で非常に深いものとなりました。5年間を振り返って、特に思うのは部活動での思い出です。ともに乗り越えられる仲間達があったからこそ、たとえつらい練習でも諦めることなく取り組むことができました。全国大会ではリベンジを果たすことはできず悔しい気持ちもあります



5 Mクラスメイト達



ラグビー部メンバー

が、今は悔しさよりもサポートして下さいました方々への感謝の気持ちでいっぱいです。ラグビーを教えてくれた監督、そして部員には本当に感謝しています。4月からまた新たな地で新生活を始めていく中で、様々な困難に直面することもあると思いますが、奈良高専で学び経験したことを最大限に活かして頑張っていきたいです。

機械工学科5年学級担任 廣 和樹

5 Mの皆さん、卒業おめでとうございます。思い返せば、入学してから今日に至るまで、様々な思い出が蘇ることと察します。当たり前のことですが、良いこともあれば悪いこともあったと思います。これで1つのクラスとしての活動は終了し、4月からは、各自、それぞれの道を進むことになります。その道のりにおいて、(これからも?) 様々な出来事があるかもしれませんが、奈良高専で得られた経験を礎となり、乗り越えてもらえたら、と願っています。See you again

卒業
おめでとう



電気工学科5年 西岡 正悟

入学から卒業まで、あっという間の5年間でした。1年生の曽爾高原、2年生では実験が本格的に始まり、3年生のマリンバ演奏会、4年生でのインターンシップや1泊2日の学外実習、5年生の卒業旅行……どれも思い出深かったです。なかでも、最後のスポーツ大会の優勝が1年の初め以来だったことには驚きで、「やるときはやるクラス」を実感しました。

また、このクラスは多くの人が国際プロジェクトに参加したことや、スピーチコンテストへの参加、留学した人がいることなど、英語に対する意識が高かったように感じました。自分も5年間で英語に対する意識は大きく変化したと思います。3年時の担任が外国の先生だったことや先生方から英語の必要性を十分に教わったからでしょうか。

一方で学年が上がるにつれて増えるレポートや専門科目、そして、5年間の集大成である卒業研究。実験や研究は中々上手いかず、楽であったとは言えません。ですが、試行錯誤して乗り切ったこれらの課題は、決して無駄ではなかったということを経験した生活において実感できるかと思います。また、そこでの失敗は次の舞台の糧となるでしょう。



5 Eクラスメイト達

最後になりますが、奈良高専で勉強や研究、課外活動、進路、様々な面で支えて頂いた先生方、そして楽しい思い出を一緒に作ってきたクラスメートに感謝し、この文章を締めくくりたいと思います。5年間本当にありがとうございました。

電気工学科5年学級担任 藤井 治久

皆さん、卒業おめでとうございます。苦楽を共にした同級生と別れ、一人ひとりが新しい人生の道のりを歩んで行くことになります。奈良高専で学んだ知識を今後の人生に役立てて欲しいのは当然ですが、同級生との思い出も大切に生きて行って欲しい。

さあ、大いなる真昼の海へ旅立って下さい。

